

<基本情報>

改組予定年度：令和9年度
 改組内容：学部の新設
 設置等組織名：**環境情報工学部**
 入学定員：【R9新設】100名
 所在地：三重県四日市市

環境と産業の先進都市「四日市」でグリーン・デジタル人材を育成する
 「環境・防災先進都市」・「産業・交流拠点都市」を謳う「四日市」で、SDGsや地域循環共生圏の実現を目指すグリーン人材、新世代のデジタルメディアテクノロジーを自由自在に取り扱うデジタル人材、そして環境と情報の両領域にまたがるグリーン・デジタル融合人材を育成する。

理系学生の受け皿と出口戦略

理系を志望する生徒の受け皿として
 ✓三重県で理系学部（医療系を除く、以下同じ。）を持つ大学は国立大学1校のみ。理系学部を持つ私立大学は県内にない。
 ✓三重県の調査によると、工学分野への進学を希望する学生が多く、**県内の理系学生の受け皿が不可欠**。
 ✓高校生・保護者・学校に対して調査を実施し、具体的な分野を絞る。

産業界・社会が求める人材の育成
 ✓「**地域人材育成協議会**」を発足する。四日市市をはじめとした周辺自治体や地域の経済団体・学校・市民と意見交換を行い、**産業界・社会から求められる人材像を明確にする**。
 ✓地域人材育成協議会で見いだされた人材像をもとに、地元企業の成長戦略や地域、各業界の動向を調査し、アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3ポリシーを具体化する。
 ✓産学官民連携を強化し、企業・大学間での採用・就職情報の共有や、インターンシップの充実をはかる。

入学者選抜・学生支援体制

多様な入試と学生支援体制の充実
 ✓大学での学修で求められる資質や能力を見極めるため、理系科目重視型の新設など、入学者選抜における受験科目・区分を見直す。
 ✓社会人・留学生**区分と学生支援体制を整備**する・女子学生に加え、大学進学率の低い三重県南勢地域等や離島を対象とした**多様な入試**。



グリーン・デジタルの融合

データサイエンスを基盤とした教育
 ✓グリーン・デジタル両分野のけん引に不可欠な**データサイエンス教育を重視**する。すべての学生にデータサイエンスの基礎を身につけさせる。
 ✓三重県の私立大学では本学が初めての認定となったMDASHを基盤としたデータサイエンス教育を展開する。

重視する教育研究分野と体制強化
 ✓グリーン分野は、SDGsや地域循環共生圏の実現を目指し、自然・産業・生活環境保全に加え、GX・DX、スマートシティに関する教育を強化する。
 ✓デジタル分野は、データやAIの活用、情報セキュリティ、XRや新世代メディア技術に関する教育を実施する。
 ✓「高等教育コンソーシアムみえ」などの枠組みを活用し、県内他機関との連携強化をはかる。
 ✓企業・行政経験のある**実務家教員を積極的に登用**し、実践的教育を行う。
 ✓研究開発でも地元の企業・自治体との連携を強化し、共同研究・受託研究などの規模・件数を拡大する。

本年度実施概要及び特徴ある取り組み

【地域人材協議会発足の検討】

これからの社会で求められるグリーン・デジタル人材を育成できる教育体制を構築するため、地域人材育成協議会において求められる人材像を洗い出す。この人材像に基づき、現行の環境情報学部のカリキュラムを再点検し、学修目標およびカリキュラム編成を行う。これらの設定にあたっては、OECDによる高等教育の質保証ガイドラインを参考にする。

【入学者選抜体制の検討】

大学での学修で求められる資質や能力を評価するため、受験科目や受験区分を見直す。学習目標や教育カリキュラムに沿った評価項目を設定した面接試験や小論文試験を実施し、入学後に求められる能力を適切に評価する。令和6年度からは一般選抜に小論文型試験の導入した。社会人学生や留学生に加えて、大学進学率の低い三重県南勢地域等の過疎地や離島を対象とした入試や、外国にルーツを持つ生徒を対象にした入試区分を設けるほか、女子学生比率向上のための支援体制を整備を引き続き行う。

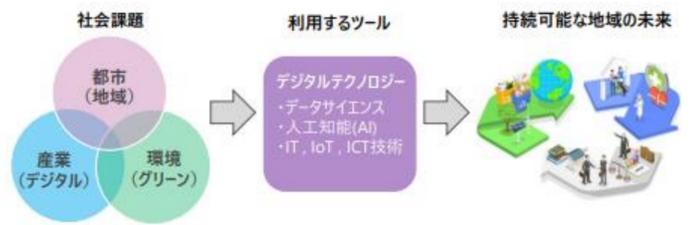
【他大学への視察・訪問】

他大学の学部立ち上げ及び運営などの成功事例を具体的なノウハウを学ぶ施設やカリキュラムなどの運用方法について把握することができた。学生募集や教員確保に関する課題についても問題事例を学ぶことができた。
 訪問大学：愛知産業大学、大阪成蹊大学、武庫川女子大学、近畿大学、九州大学、下関市立大学

【新カリキュラム及び教員体制の検討】

三重県の有識者会議による調査において工学分野への進学を希望する学生が多く、理系学部に対する潜在的ニーズは高いと考えられる。そこで、これからのグリーン・デジタルの両分野をけん引できる人材を育成するため、現行の環境情報学部のカリキュラムを点検し、検討を行った。データサイエンス教育に関しては、三重県の私立大学で最も早くに認定を受けたMDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム)を基盤としてさらなる充実をはかる。
 地域のニーズを把握し、実用的な研究が進められる13の研究室を掲げて、インターンシップ制度の充実とともに学生の実践的なスキル育成のシステム構築を検討した。

【環境情報工学部（仮称）の学びのひろがり】



【研究室例】

グリーンデジタル分野のスペシャリストを育成する

- 1)アーバンインフラストラクチャ**
地方中核都市にふさわしい都市環境を創造するために必要なインフラ・ハードウェアに関する計画・設計・整備・保守について研究をすすめます。
- 2)ランドスケープアーキテクチャ**
人・社会・コミュニティを豊かにするための都市づくりに向けてフィジカルとバーチャル双方からアプローチします。
- 3)スマートAIシティ**
人工知能技術（AI）と情報通信技術（ICT）を活用しながら、都市の機能やサービスの効率化に向けた研究を進め、地域社会の豊かさへの貢献を目指します。
- 4)GXデータセンシング**
センサを利用して環境・人流・交通などの情報をモニタリングし、得られたデータを活用した生産性の向上と効率化・予測分析・リスク管理など、様々な側面での価値を創造する研究を目指します。
- 5)コンピュータビジョン**
画像セグメンテーション・物体検出・パターン検出・顔認識などコンピュータビジョンを活用した研究を展開し、製造・エンターテインメント・医療など多岐にわたる分野での応用を追求します。
- 6)ソフトウェアイノベーション**
ソフトウェアやアプリケーションの開発および先進的な情報技術を活用し、地域の課題を解決するためのシステム応用研究を行います。
- 7)スマートアグリエンジニアリング**
ICT、IoT、データセンシング、ドローン技術、栽培環境自動制御などデジタル技術を駆使したスマート農業の可能性を探り、これからの都市と農業の関係を見据えた研究開発をすすめます。
- 8)エコロジカルシステム**
温暖化対策や生物多様性の保全などの地球環境問題から身近な自然や生物の保全まで生態系と自然環境に関する問題に取り組みます。
- 9)アクアティックサイエンス**
世界規模の水資源問題や海洋環境汚染問題から生活に密着した河川環境の保全や生活用水の適正管理まで、水に関する諸課題を取り扱います。
- 10)シティライフ&ヘルスマネジメント**
健康で充実した都市生活を送るために生活環境の保全と向上を目指し、生活衛生の向上、生活環境問題の予防と対策、省資源、省エネルギーに関する調査研究をすすめます。
- 11)メディアテクノロジー**
メディア技術を当てた学びを展開します。IoT、CG、MRなど先端メディアに関する知識と技術を修得しエンタメ・製造・医療・教育の現場などの業務効率化に向けた応用研究を目指します。
- 12)ホリスティックデザイン**
空間や環境、生活用品など広範な対象物を、工学と芸術の両方の視点から捉え、デザインを追求します。多様なニーズへの対応や社会的な課題解決をモノづくりからアプローチすることを目指します。
- 13)メディアコミュニケーション**
地域のメディア機関や四日市市と連携し、実践的な学びを通して、情報収集・編集・発信・分析などメディアコミュニケーションに必要な各ステップの理論や技術、データ分析の修得を目指します。